

執筆者紹介

今井昌子（大阪成蹊女子短期大学非常勤講師）

谷村 茂（本学大学院博士課程後期課程）

早川久美子（同志社香里中・高等学校非常勤講師）

吉川麻里（本学大学院博士課程前期課程）

林 翠芳（本学大学院博士課程後期課程）

編集後記

本号は、論文五編と資料翻刻一編のつごう六編からなり、総じて若い世代の方々の論稿を中心に編集することができた。記念号の直後だけに、原稿の集まりが心配されたのであるが、それも杞憂だったようである。

去る一月一七日早朝に起きた阪神大震災は、われわれの身近なところにも大きな惨禍をもたらしている。ほぼ一ヶ月を経て、その衝撃的な事実と記憶とが、少しずつ言葉によって表現され始めようとしている。それは、文学の原点につながる営為でもあろう。

阪神地域在住の学会員の皆さんがご無事であることを、そして地域の復興が一日も早く成し遂げられることを切に祈りたい。

（駒木 敏）

同志社国文学 第四十二号

一九九五年三月一五日 印刷

一九九五年三月二〇日 発行

編集 駒木 敏

発行 同志社国文学会

（代表） 加美 宏

京都市上京区今出川通烏丸東入

振替 〇一〇九〇—二—二七三七

印刷所 共同印刷工業株式会社

京都市右京区西院久田町